

令和4年度 経営発達支援事業

# 地域経済動向調査報告書

弥 富 市 商 工 会

## I 地域経済動向調査アンケートについて

### 1. 目的

「地域経済動向調査」の目的は、当調査を基にデータの蓄積、分析を行い、弥富市内事業者の経営計画策定や経営改善に役立つ資料として使用されることを目的とする。

### 2. アンケート調査実施方法

弥富市内の事業所のうち事業者数の多い業種である小売・卸売業、サービス業、製造業、建設業について、商工会会員企業に対し年1回アンケート調査を実施する。回収方法は、FAX等による。

### 3. アンケート調査項目

#### <フェイス情報>

企業名（非公開）、業種、従業員数（正規、非正規）

#### (1) 景況・業況感

①現在の売上高（前年同期比 好転、横ばい、悪化）

②当期の採算状況（黒字、トントン、赤字）

#### (2) 価格関係

①販売・受注価格（上昇、不変、下落）

②仕入・材料価格（上昇、不変、下落）

#### (3) 金融関係

資金繰り状況（良好、良くも悪くもない、悪い）

#### (4) 労働・雇用

①雇用人数（前年より 増加、不変、減少）

②雇用状況（過剰、適正、不足）

#### (5) 設備関係

①当期の設備投資予定（あり、なし）

②次期の設備投資予定（あり、なし）

#### (6) 現在直面している経営課題は何ですか。（複数回答可）

①事業承継（経営の承継、資産の承継等）②インボイス制度（適格請求書保存方式）  
③キャッシュレス決済 ④従業員の確保・教育 ⑤設備投資・更新 ⑥資金繰り ⑦ITへの対応（情報機器の導入、HP、SNS等）⑧営業力強化（新規販路開拓、マーケティング戦略）⑨財務改善（原価改善・コスト削減等）⑩新製品、新サービス等の開発 ⑪その他【           】

### 4. アンケート回答数

小売・卸売業      12社

サービス業        11社

製造業            11社

建設業            11社

## II 地域経済動向調査分析

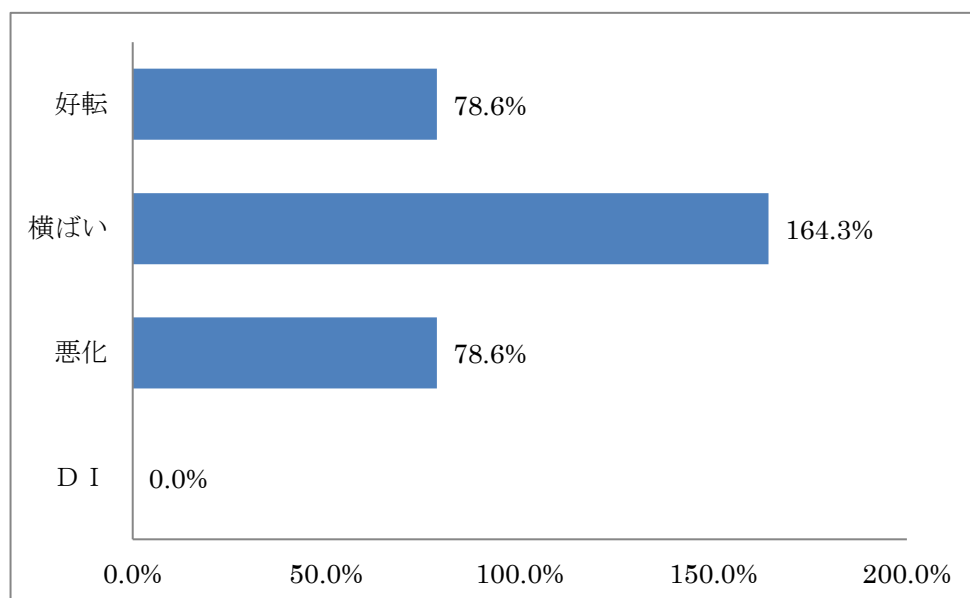
当調査における対象事業所数の当初計画は 40 社程度を選定するとしていたが、45 社より回答を得ることができた。45 社のうち約 87%が従業員規模 10 名以下であり、21 名以上の中小企業も 3 社含まれている。

分析方法として、Diffusion Index (D I :ディフュージョン・インデックス) を用いた。企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したもので、全回答社数に対する「回答社数構成百分比」を算出した後、 $D I = (\text{第 1 選択肢の回答社数構成百分比}) - (\text{第 3 選択肢の回答社数構成百分比})$  により算出した。以下、D I はグラフにおいて%表示されているが、%ポイントのことである。

### 1. 全業種

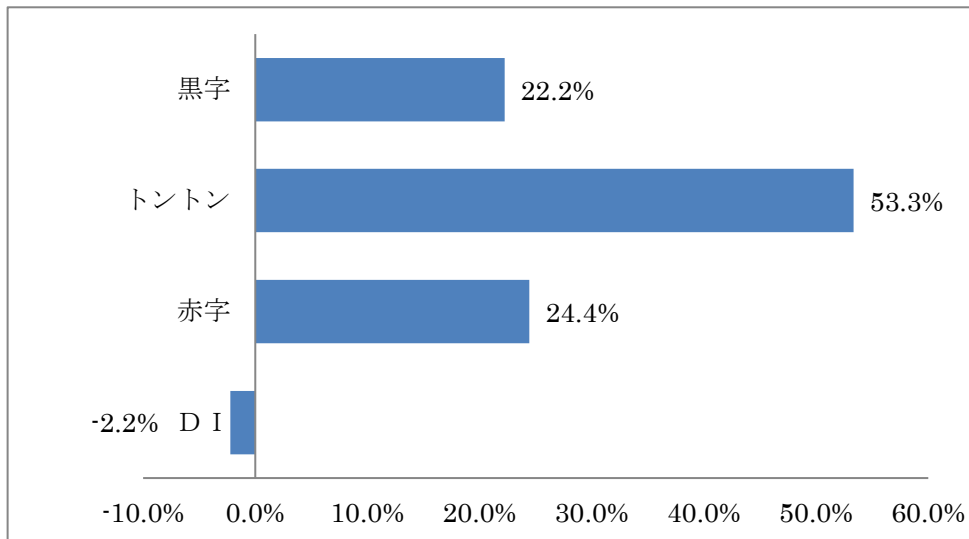
#### (1) 景況・業況感

##### ①現在の売上高



前年と比較した売上高について、好転から悪化を差し引いた売上高D I は、0%ポイントとなっている。愛知県の行った令和 4 年 7~9 月期中小企業景況調査(以下「愛知県の調査」という。)における全産業の売上D I は▲21.7%ポイントであり、回復が進んでいる。

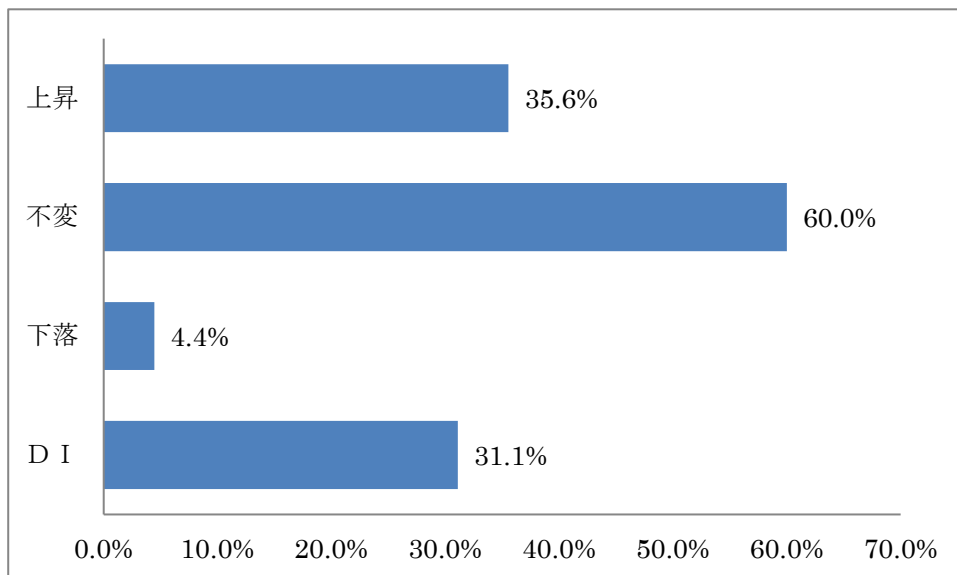
## ②当期の採算状況



当期の採算について、黒字企業 22.2%から赤字企業 24.4%を差し引いた採算D Iは▲2.2%ポイントとなっている。愛知県の調査における全産業の採算D Iは▲12.5%ポイントとなっており、業績回復が進んでいる。

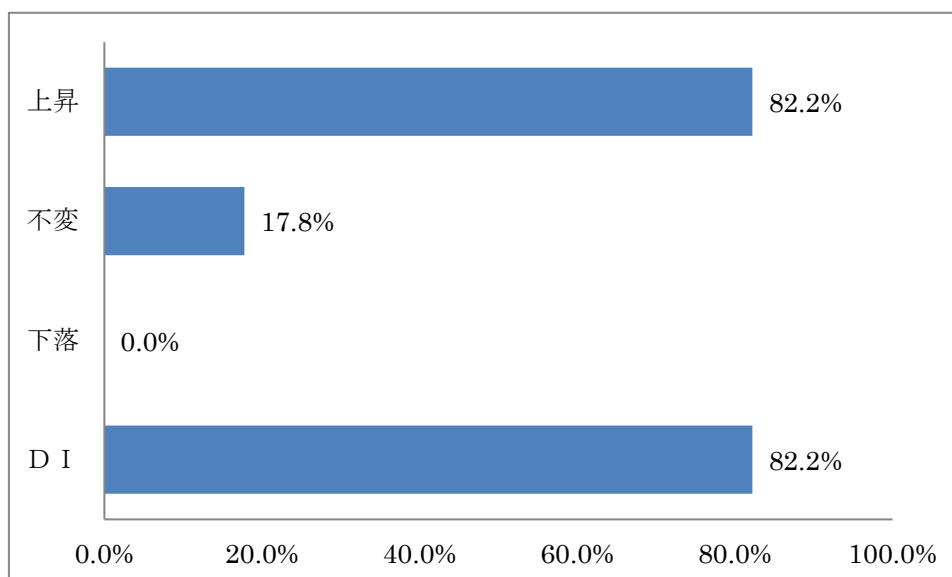
## (2) 価格関係

### ①販売・受注価格



販売・受注価格について、上昇 35.6%から下落 4.4%を差し引いた販売・受注価格D Iは、31.1%ポイントとなっている。愛知県の調査における製造業の販売価格DIは31.2%ポイント、卸・小売業は31.1%ポイント、サービス業は▲9.3%ポイントとなっている。

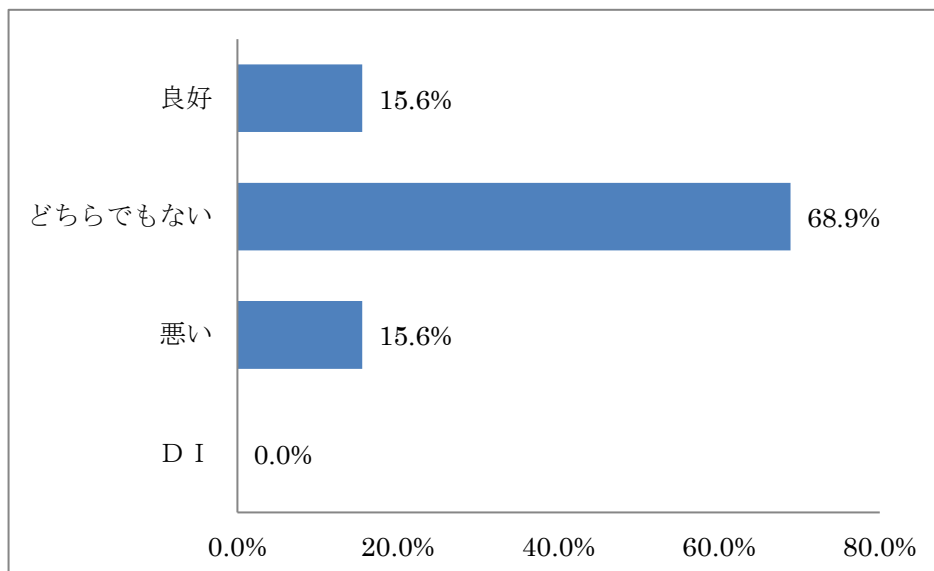
## ②仕入・材料価格



仕入・材料価格について、下落したと回答した企業はなく、上昇したと回答した企業は82.2%であり、仕入・材料価格D Iは82.2%ポイントであった。愛知県の調査における製造業の主要原材料価格D Iは90.0%ポイント、建設業の仕入価格D Iは90.8%ポイント、卸・小売業の主要資材価格D Iは81.3%ポイントとなっている。

## (3) 金融関係

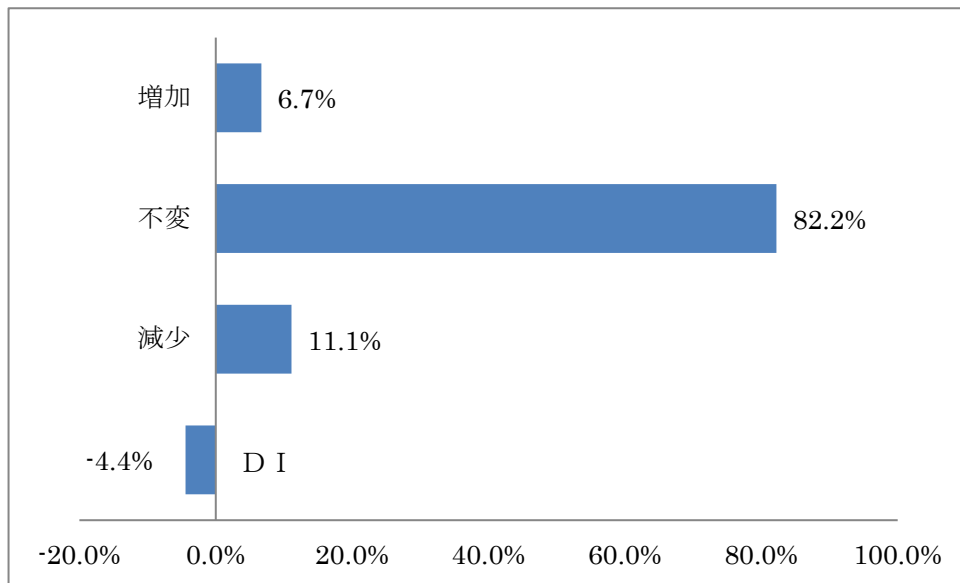
### 資金繰り状況



資金繰りの状況について、良好15.6%から悪い15.6%を差し引いた資金繰りD Iは0%ポイントである。愛知県の調査における全産業の資金繰りD Iは▲23.2%ポイント、金融機関の貸出態度D Iは6.1%ポイントであり、資金繰りは安定している。

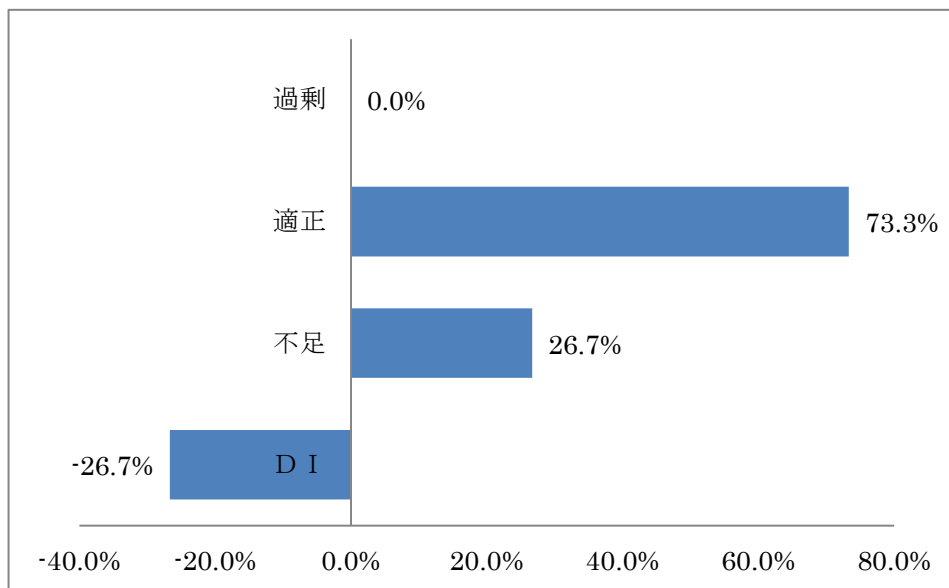
#### (4) 労働・雇用

##### ①雇用人数



労働・雇用状況について、雇用人数が増加した企業は 6.7%、減少した企業は 11.1%である。D Iは▲4.4%ポイントとなっている。

##### ②雇用状況



雇用状況について、過剰としている企業は 0%、不足としている企業が 26.7%である。D Iは▲26.7%ポイントとなっている。愛知県の調査における全産業の雇用人員D Iは▲19.7%ポイントであった。雇用人数が減少し、不足していることがわかる。

## (5) 設備関係

### ①当期の設備投資予定

設備投資を実施した、または、実施予定とした企業数を調査企業数で除した設備投資実施率は **22.2%** である。愛知県の調査における全産業の設備投資実施率は **29.4%** で製造業が **34.4%** サービス業 **26.4%** の順であった。小規模事業者が多いことから設備投資は進んでいない。

### ②次期の設備投資予定

次期の設備投資を予定している企業は **13.3%** と積極的な設備投資が計画されていない。

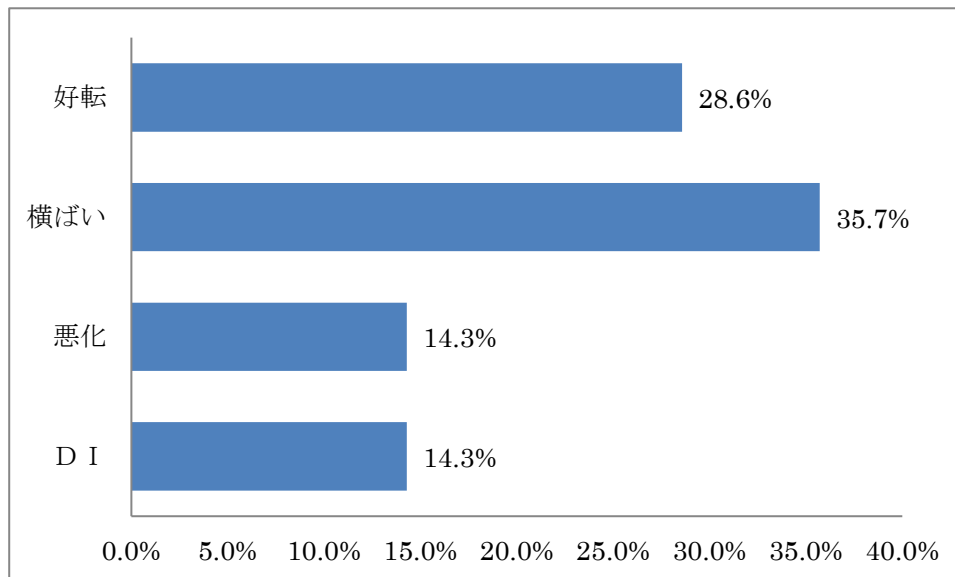
## (6) 現在直面している経営課題は何ですか。(複数回答可)

直面する課題として全業種では「インボイス制度 (適格請求書保存方式)」**33.3%** 「従業員の確保・教育」**28.9%** 「事業承継 (経営の承継、資産の承継等)」**22.2%** の順であった。しかし、製造業、卸・小売業では「事業承継 (経営の承継、資産の承継等)」の回答が多く、**36.4%** (製造業) **25.0%** (卸・小売業) であった。また、製造業では「設備投資・更新」**27.3%**、卸・小売業では「営業力強化 (新規販路開拓、マーケティング戦略)」**25.0%** との回答も多かった。

## 2. 製造業

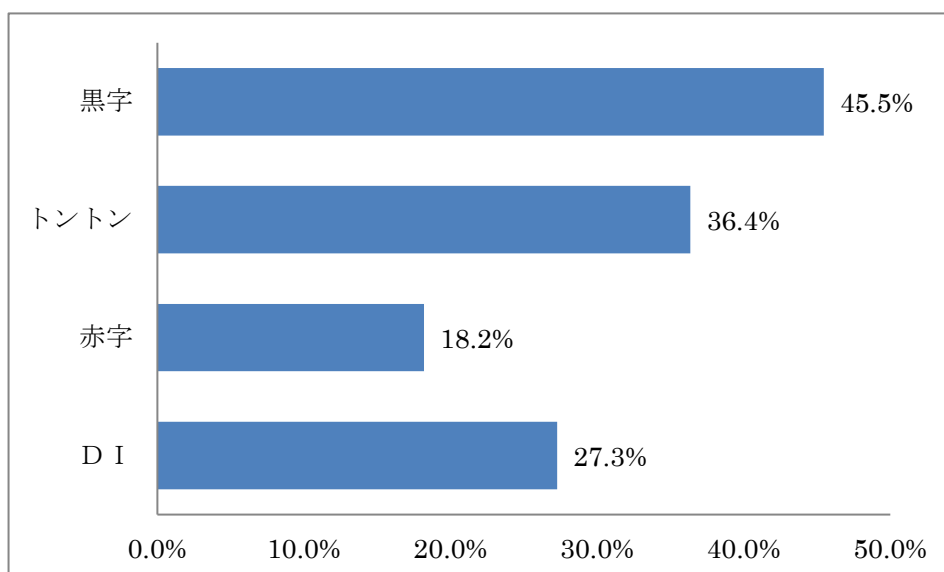
### (1) 景況・業況感

#### ①現在の売上高



製造業の景況・業況感について、前年同期と比較した売上高が好転したと回答した企業は **28.6%**、悪化したと回答した企業は **14.3%** となっており、売上高 D I は **14.3%** ポイントであった。前年はマイナスポイントであり、コロナ禍からの回復がうかがえる。

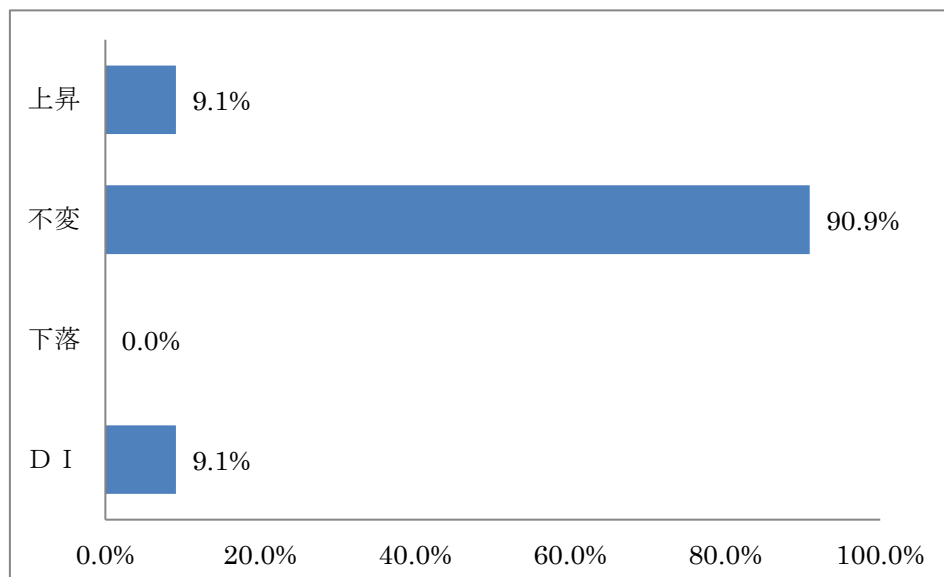
## ②当期の採算状況



採算の状況について、黒字企業は45.5%、赤字企業は18.2%であり、採算D Iは27.3%ポイントであった。前年はマイナスポイントであり、収益の改善が進んでいる。

## (2) 価格関係

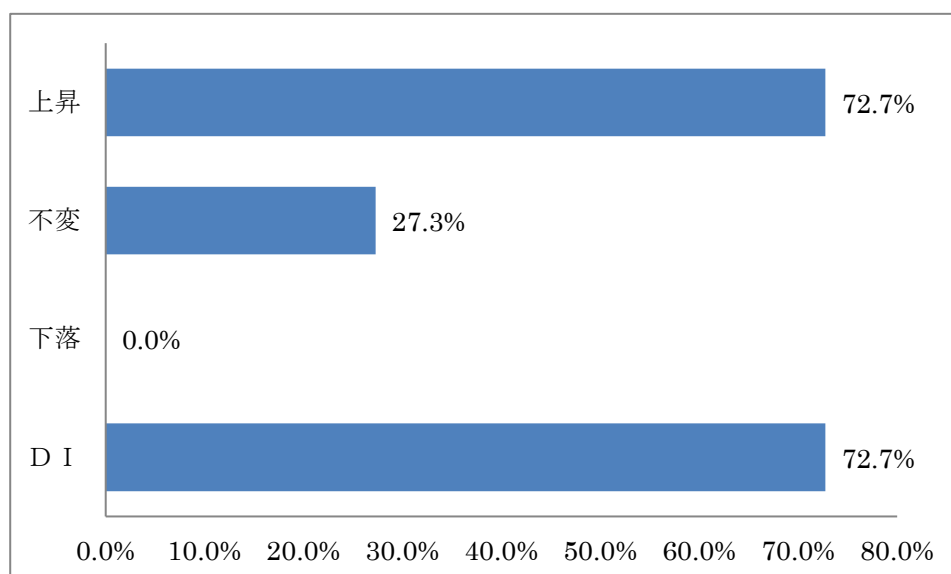
### ①販売・受注価格



販売・受注価格について、上昇したと回答した企業は9.1%、下落したと回答した企業は0%で販売・受注価格D Iは9.1%ポイントであった。前年ポイントより上昇しており、僅かであるが販売・受注価格は上昇している。



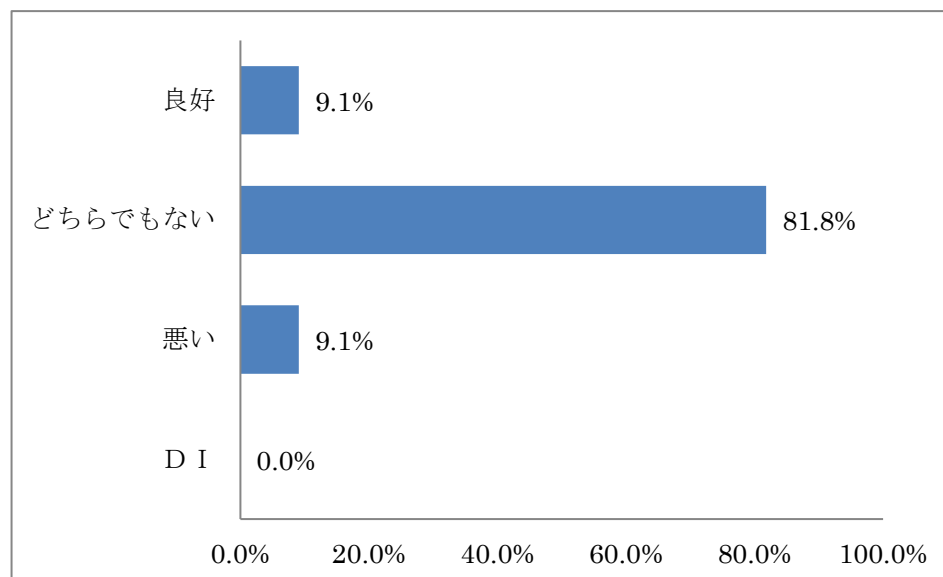
## ②仕入・材料価格



仕入・材料価格について、上昇したと回答した企業は 72.7%、下落したと回答した企業はなく、仕入・材料価格D Iは 72.7%ポイントであった。仕入・材料価格は上昇している。

## (3) 金融関係

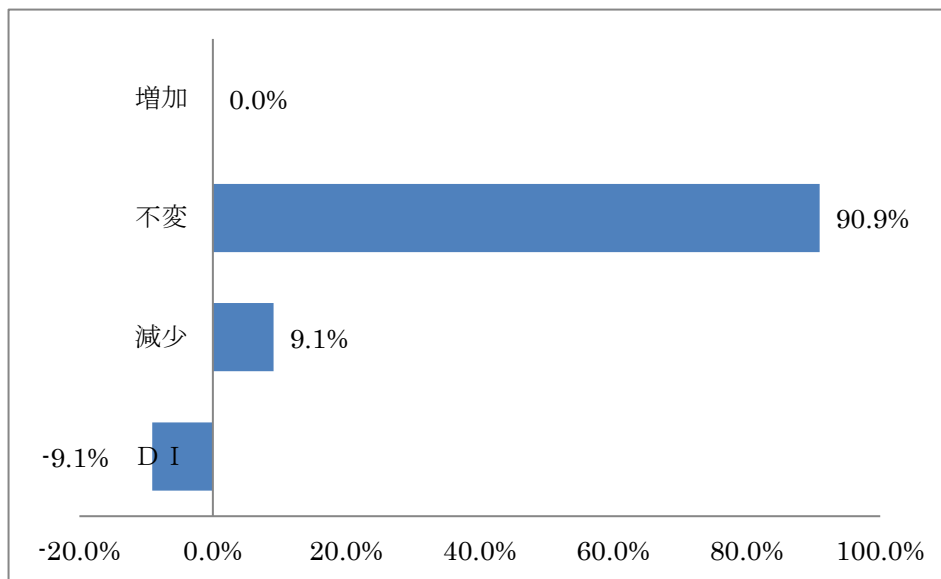
### 資金繰り状況



資金繰りの状況について、良好と回答した企業は 9.1%、悪いと回答した企業は 9.1%、資金繰り状況D Iは 0%ポイントであった。どちらでもないと回答した企業が増えており、資金繰りは安定しているといえる

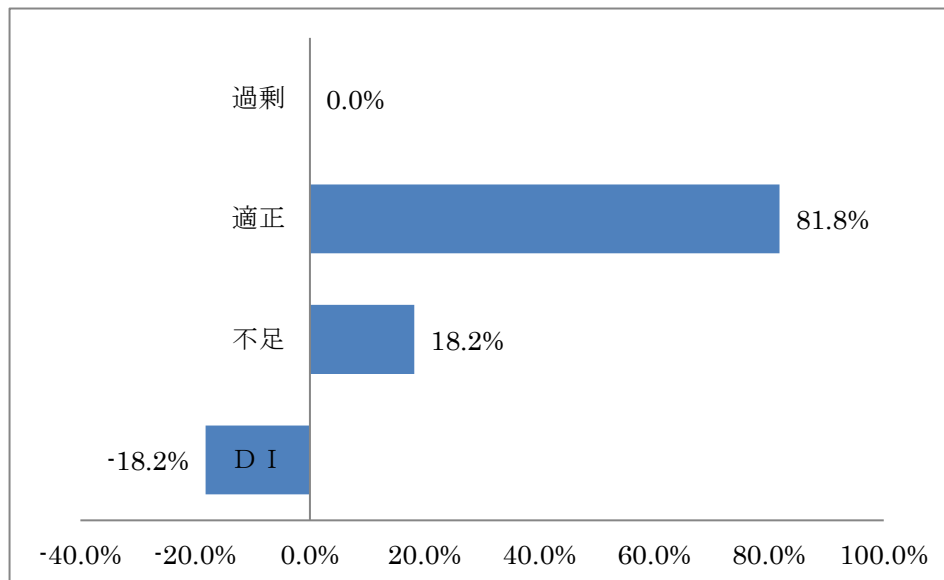
#### (4) 労働・雇用

##### ①雇用人数



労働・雇用について、雇用人数が増加したと回答した企業は0%、減少したと回答した企業は9.1%であり、雇用人数D Iは▲9.1%ポイントであった。前年より減少は続いている。

##### ②雇用状況



雇用状況について、過剰と回答した企業はなく、不足と回答した企業は18.2%となっており、雇用状況D Iは▲18.2%ポイントであった。業績回復に伴う人手不足が続いている。

### (5) 設備関係

#### ①当期の設備投資予定

製造業で当期に設備投資を行った、または、行う予定があると回答した設備投資実施率は9.1%であった。

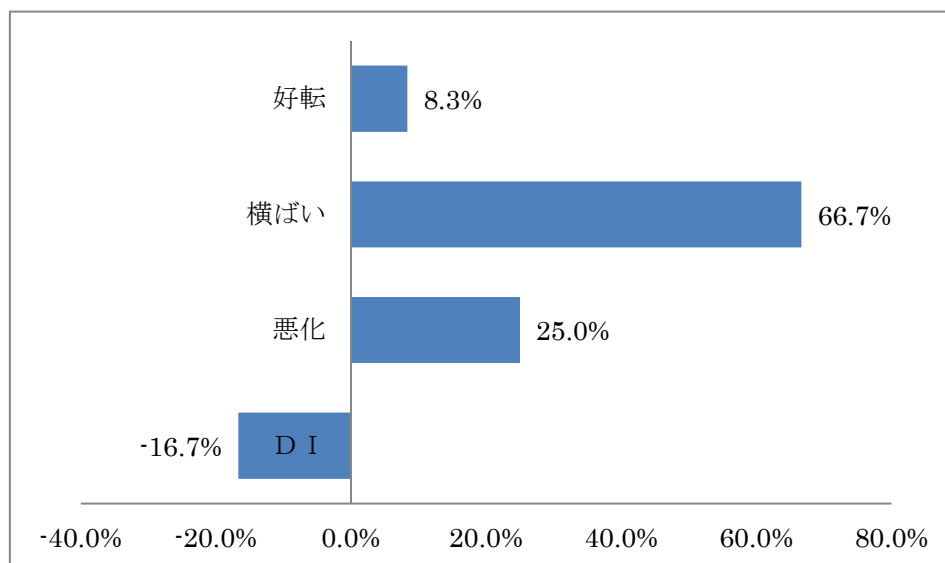
#### ②次期の設備投資予定

次期に設備投資を予定している企業はなかった。

## 3. 卸・小売業

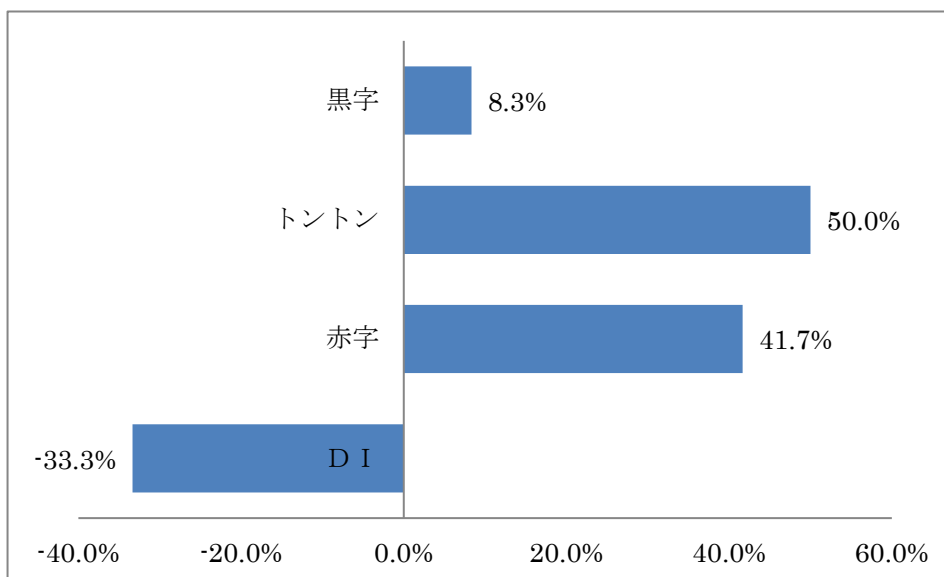
### (1) 景況・業況感

#### ①現在の売上高



卸・小売業の売上高について、前年同期と比較して好転した企業は8.3%、悪化した企業は25.0%であり、売上高D Iは▲16.7%ポイントとなっている。多業種と比較し、回復が遅れている。

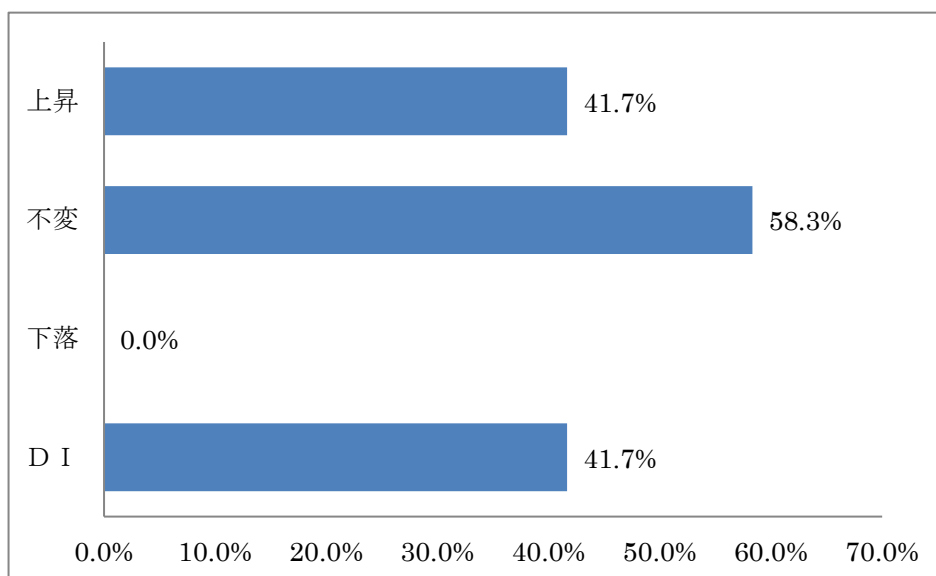
## ②当期の採算状況



当期の採算について、黒字企業は 8.3%、赤字企業は 41.7%であり、採算D I は▲33.3%ポイントとなっている。他業種と比較し、回復が遅れている。

## (2) 価格関係

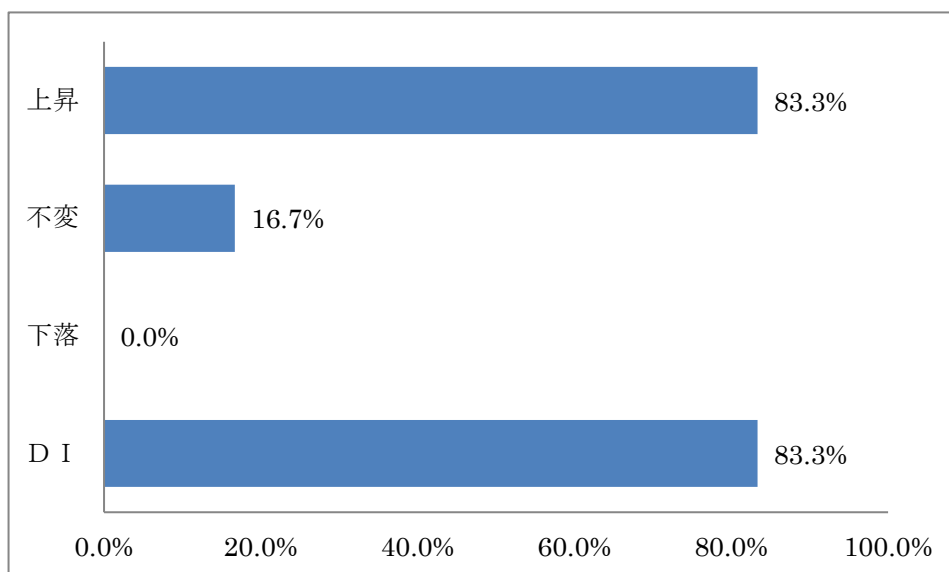
### ①販売・受注価格



販売・受注価格について、上昇したと回答した企業は 41.7%、下落したと回答した企業はなく、販売・受注価格D I は 41.7%ポイントであった。

仕入・材料価格D I と比較すると価格転嫁が行えていないことが伺える。

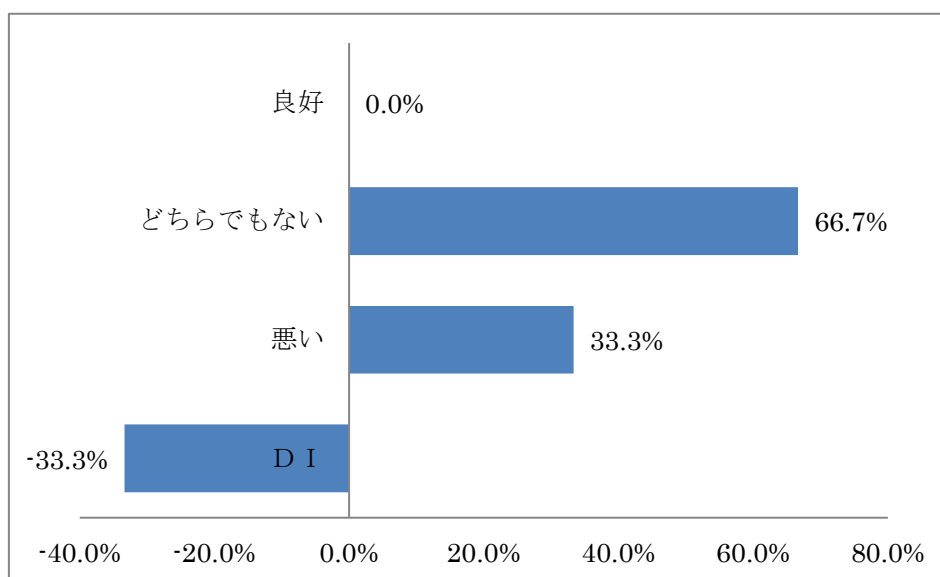
## ②仕入・材料価格



仕入・材料価格について、上昇したと回答した企業は 83.3%、下落したと回答した企業はなく、仕入・材料価格D Iは 83.3%ポイントであった。

## (3) 金融関係

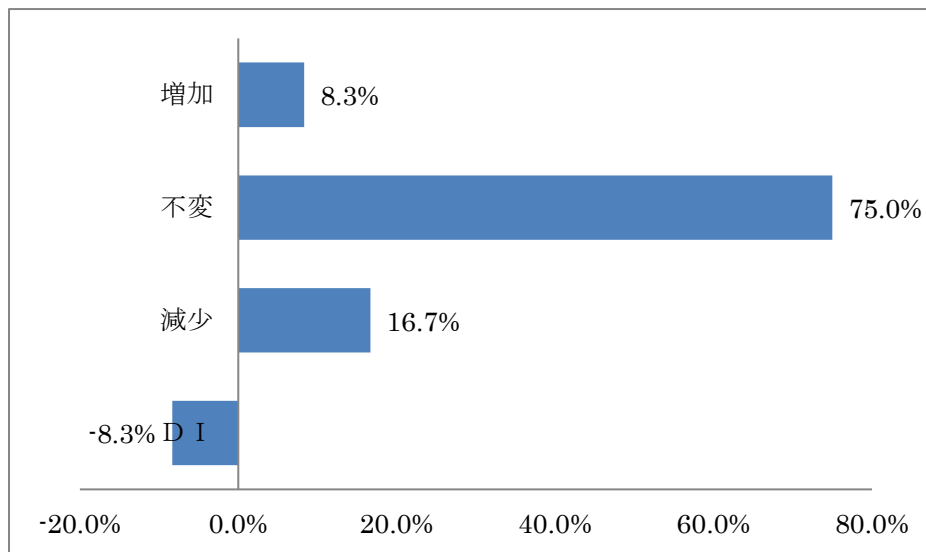
### 資金繰り状況



資金繰り状況について、良好と回答した企業はなく、悪いと回答した企業は 33.3%となっており、資金繰り状況D Iは▲33.3%ポイントであった。  
全業種でマイナスポイントは卸・小売業のみである。

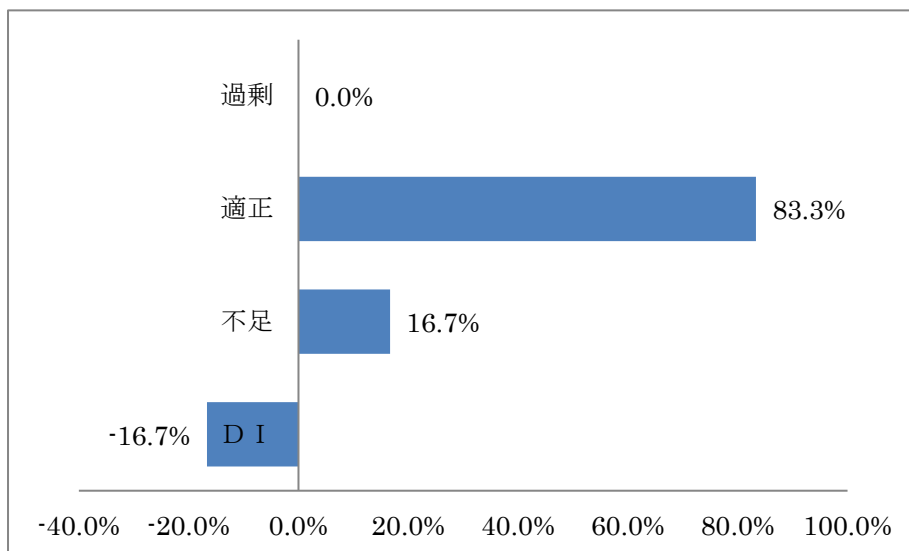
#### (4) 労働・雇用

##### ①雇用人数



労働・雇用について、雇用人数に関して増加したと回答した企業は 8.3%、減少したと回答した企業は 16.7%となっており、雇用人数D Iは▲8.3%ポイントであった。

##### ②雇用状況



雇用状況について、過剰と回答した企業はなく、不足と回答した企業は 16.7%となっており、雇用状況D Iは▲16.7%ポイントであった。

#### (5) 設備関係

##### ①当期の設備投資予定

卸・小売業で当期に設備投資を行った、または、行う予定があると回答した設備投資実施率は 8.3%であった。

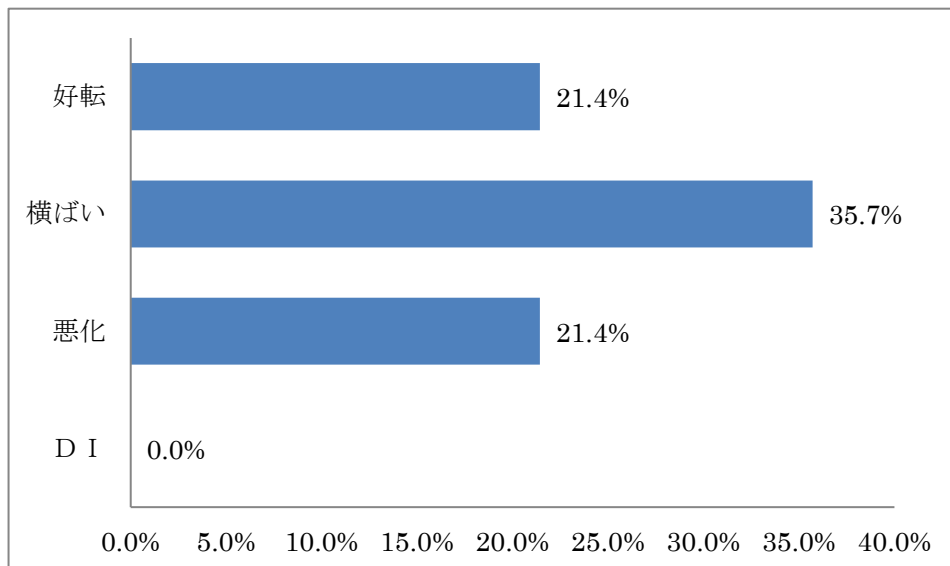
②次期の設備投資予定

次期に設備投資を予定している企業は16.7%である。

4. 建設業

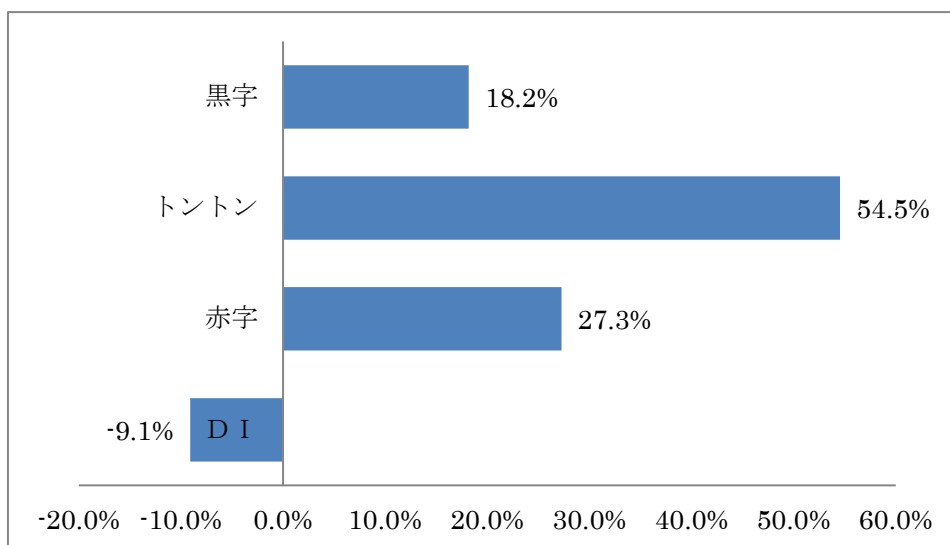
(1) 景況・業況感

①現在の売上高



建設業の景況・業況感について、前年同期と比較した売上高が好転したと回答した企業は21.4%、悪化したと回答した企業は21.4%となっており、売上高D Iは0%ポイントであった。前年と比べ好転企業が減少しており、売上は停滞している。

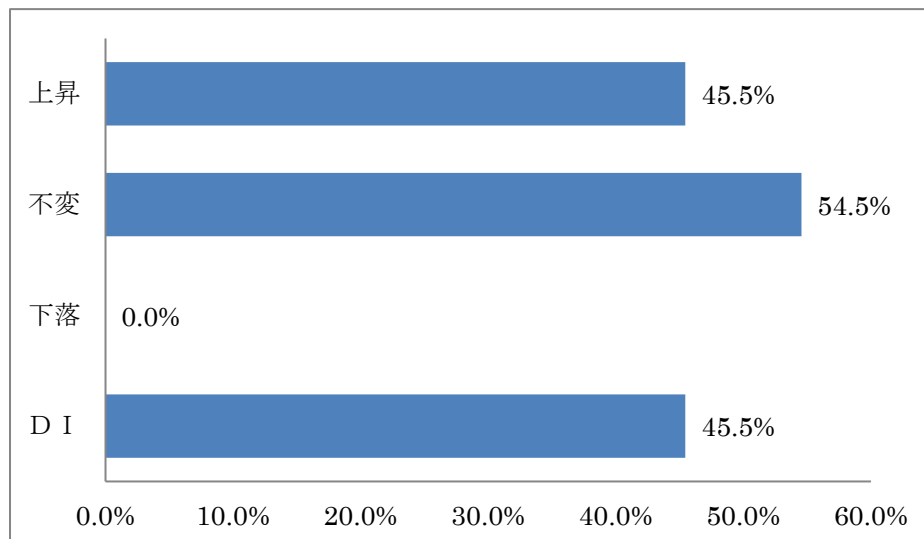
②当期の採算状況



採算の状況について、黒字と回答した企業は18.2%、赤字と回答した企業は27.3%となっており、採算D Iは▲9.1%ポイントであった。前年と比べ、収益は悪化している。

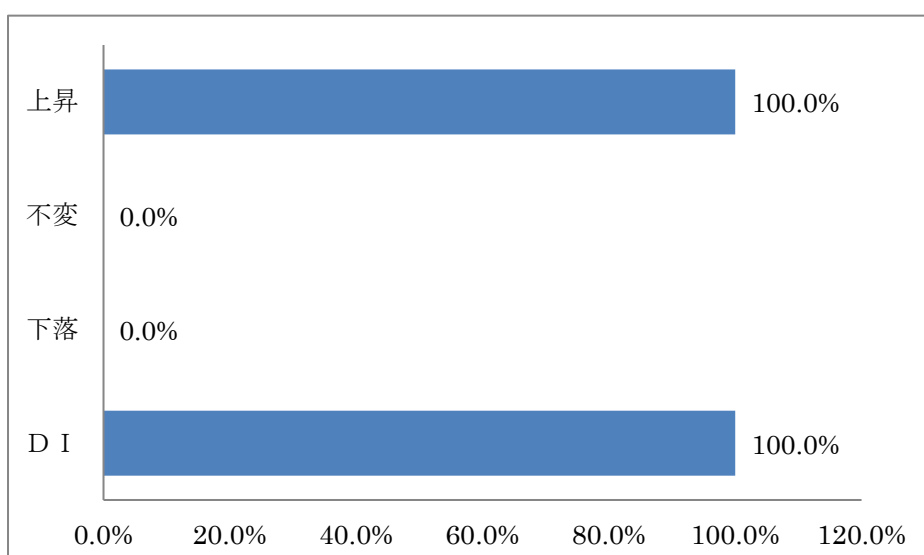
## (2) 価格関係

### ①販売・受注価格



販売・受注価格について、上昇したと回答した企業は45.5%、下落したと回答した企業はなく、販売・受注価格D Iは45.5%ポイントであった。販売・受注価格は引き続き上昇している。

### ②仕入・材料価格

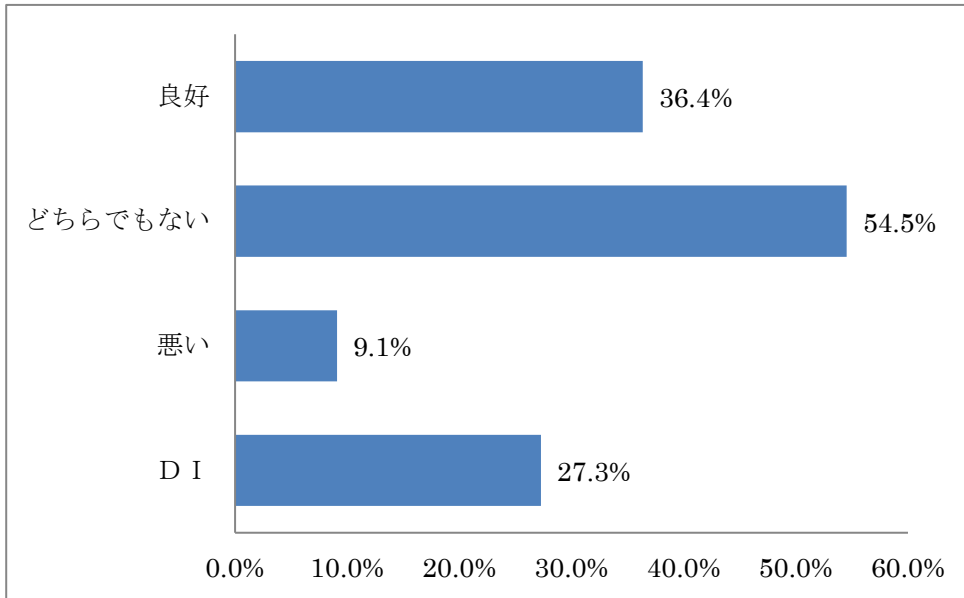


仕入・材料価格について、全企業が上昇したと回答しており、仕入・材料価格D Iは100.0%ポイントであった。前年も75ポイントあり、仕入・材料価格の上昇が続いている。



### (3) 金融関係

#### 資金繰り状況

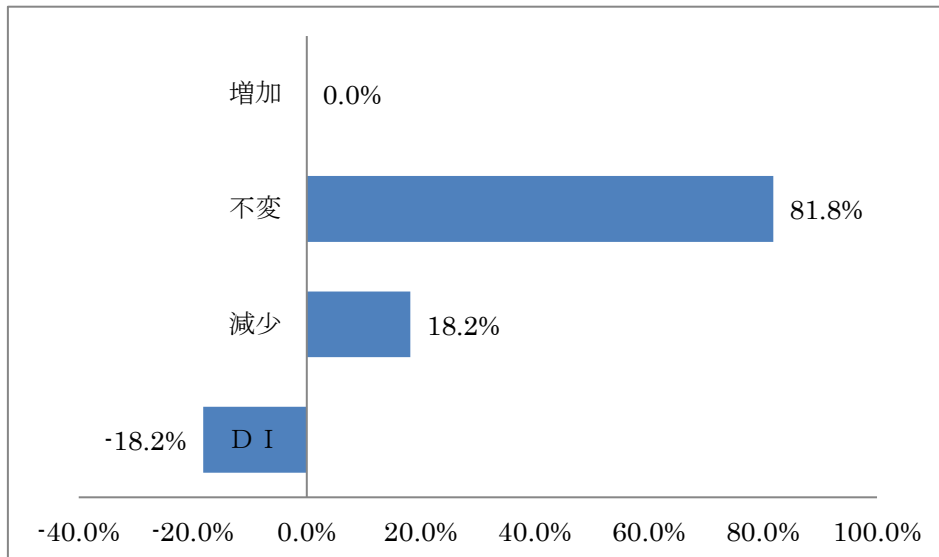


資金繰りの状況について、良好と回答した企業は 36.4%、悪いと回答した企業が 9.1%であり、資金繰り D I は 27.3%ポイントであった。前年と比べ、悪いと回答した企業が増えており、仕入・材料価格の上昇が影響していると思われる。

また、良好と回答した企業も増えており 2 極化している。

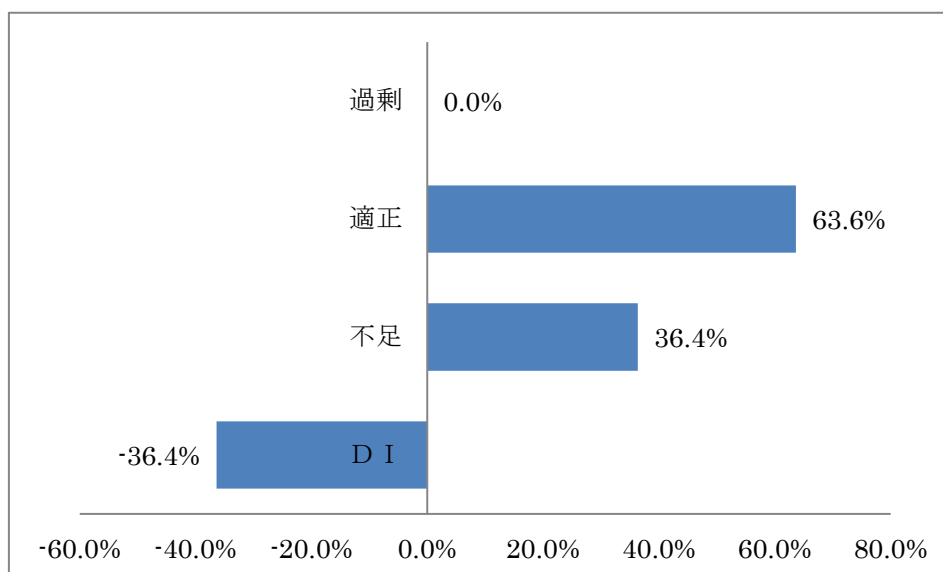
### (4) 労働・雇用

#### ①雇用人数



労働・雇用について、雇用人数が増加したと回答した企業はなく、減少した回答した企業が 18.2%となっており、雇用人数 D I は▲18.2%ポイントで引き続き減少している。

## ②雇用状況



雇用状況について、過剰と回答した企業はなく、不足と回答した企業は36.4%となっており、雇用状況D Iは▲36.4%ポイントであった。前年より改善されているが、まだ不足状況が続いている。

## (5) 設備関係

### ①当期の設備投資予定

建設業で当期に設備投資を行った、または、行う予定があると回答した設備投資実施率は36.4%であった。

### ②次期の設備投資予定

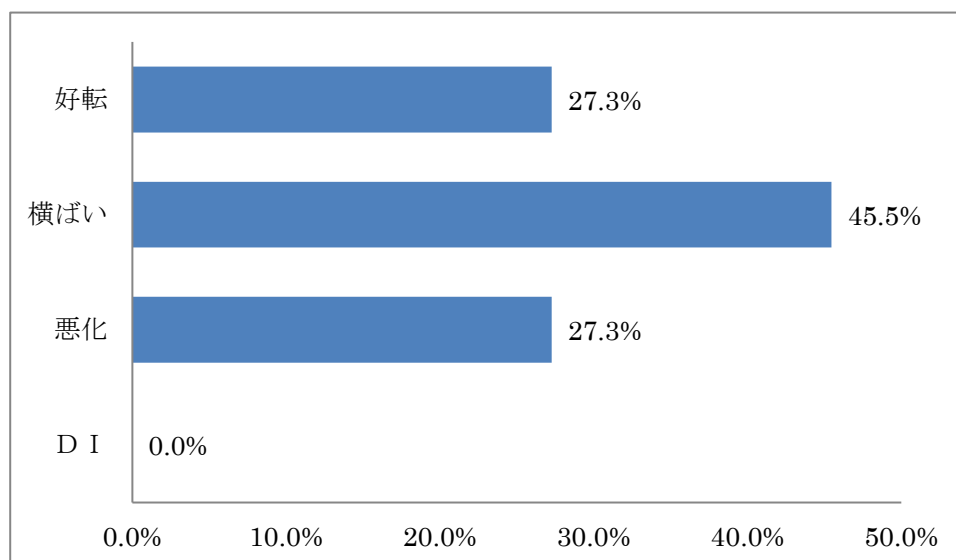
次期に設備投資を予定している企業は9.1%である。

## 5. サービス業

サービス業には、サービス業全般、飲食業、不動産業が含まれている。

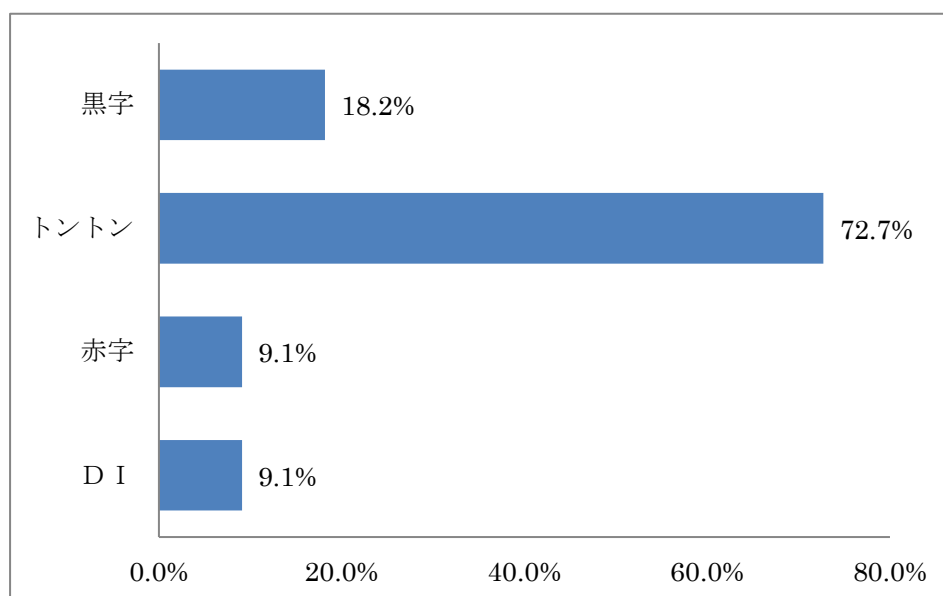
### (1) 景況・業況感

#### ①現在の売上高



サービス業の売上高について、前年同期と比較して好転した企業は27.3%、悪化した企業は27.3%であり、売上高D Iは0%ポイントとなっている。

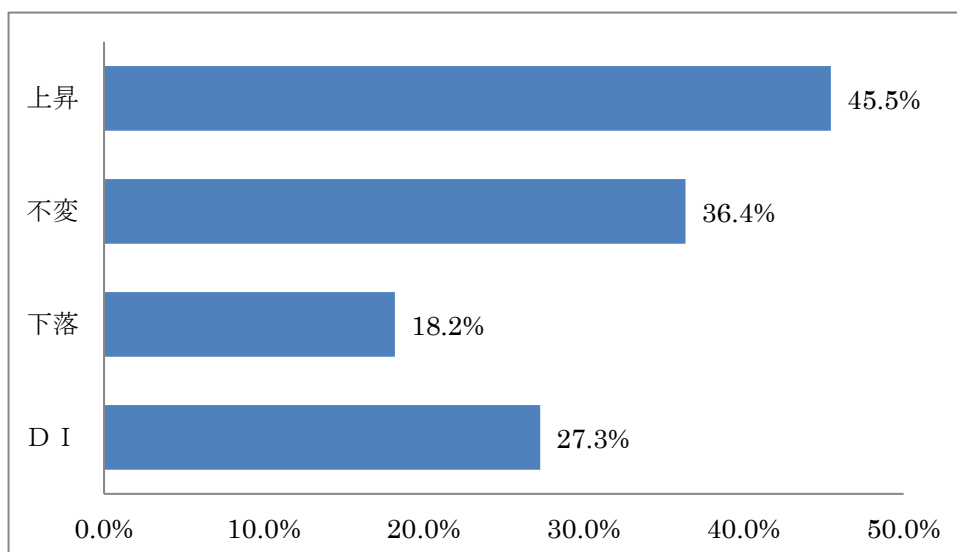
#### ②当期の採算状況



当期の採算について、黒字企業は18.2%、赤字企業は9.1%であり、採算D Iは9.1%ポイントとなっている。

## (2) 価格関係

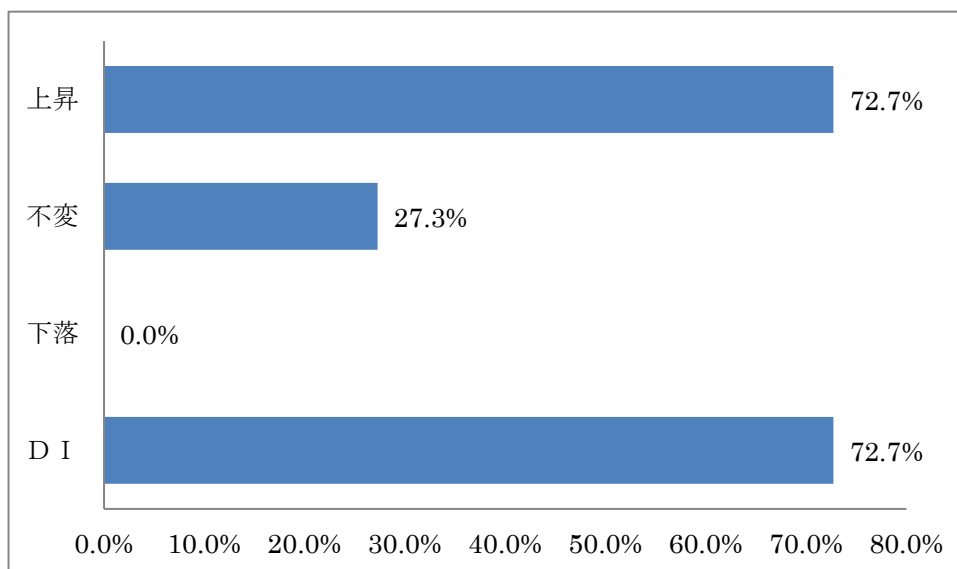
### ①販売・受注価格



販売・受注価格について、上昇したと回答した企業は 45.5%、下落したと回答した企業は 18.2%となっており、販売・受注価格D Iは 27.3%ポイントであった。

仕入・材料価格のD Iと比較すると価格転嫁が行えていないことが伺える。

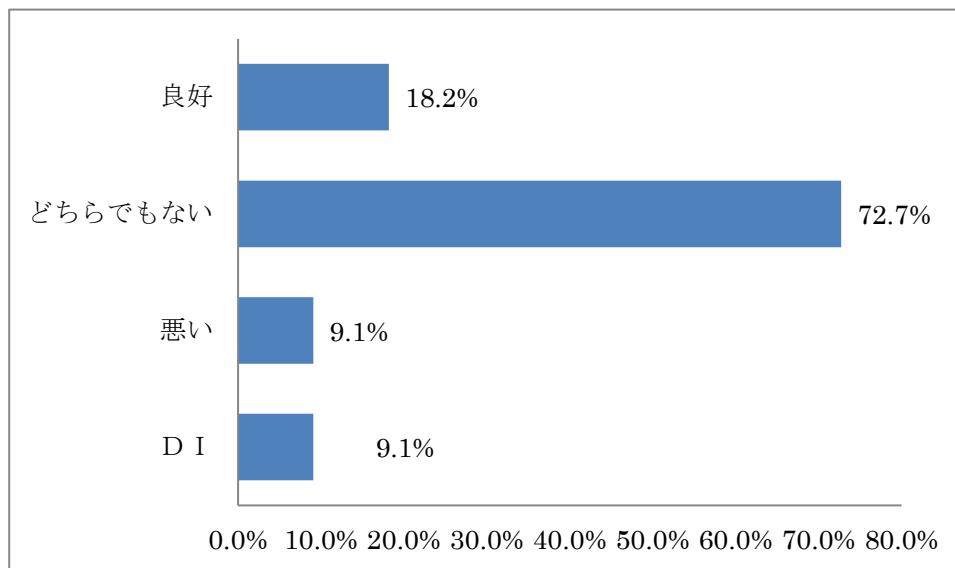
### ②仕入・材料価格



仕入・材料価格について、上昇したと回答した企業は 72.2%、下落したと回答した企業はなく、仕入・材料価格D Iは 72.7%ポイントであった。

### (3) 金融関係

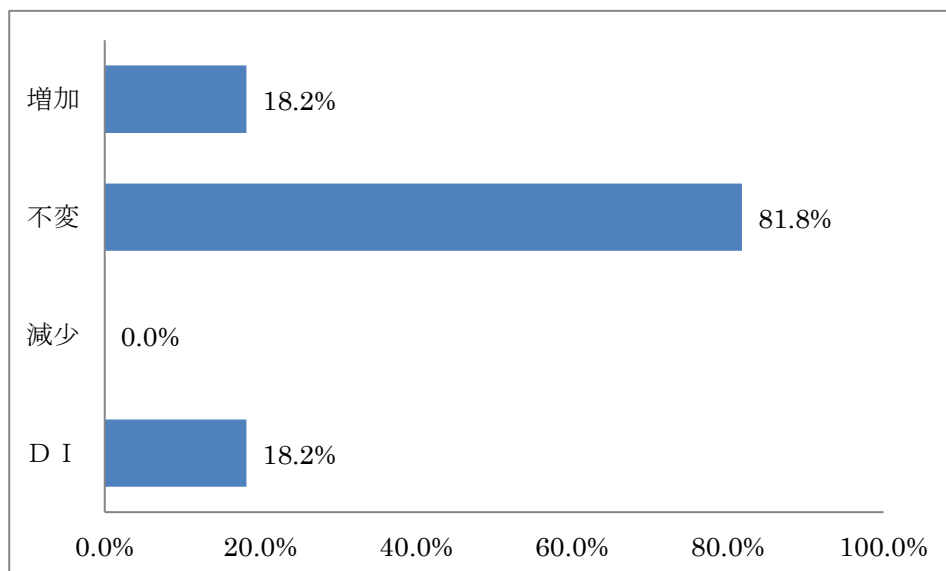
#### 資金繰り状況



資金繰り状況について、良好と回答した企業は 18.2%、悪いと回答した企業は 9.1%となっており、資金繰り状況D Iは 9.1%ポイントであった。資金繰りは改善している。

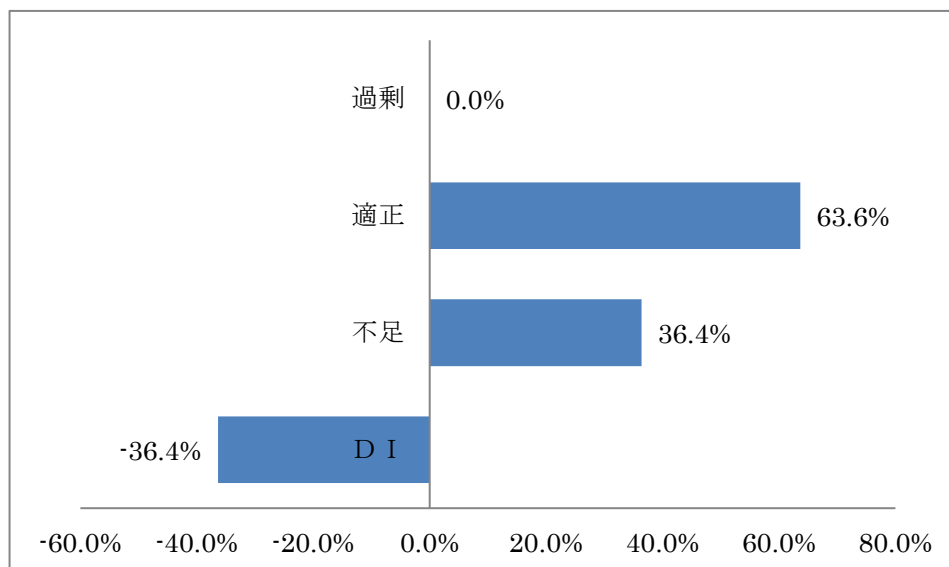
### (4) 労働・雇用

#### ①雇用人数



労働・雇用について、雇用人数に関して増加したと回答した企業は 18.2%、減少したと回答した企業はなく、雇用人数D Iは 18.2%ポイントであった。

## ②雇用状況



雇用状況について、過剰と回答した企業はなく、不足と回答した企業は36.4%となっており、雇用状況D Iは▲36.4%ポイントであった。不足分が補えていないことが伺える。

## (5) 設備関係

### ①当期の設備投資予定

サービス業で当期に設備投資を行った、または、行う予定があると回答した設備投資実施率は36.4%であった。

### ②次期の設備投資予定

次期に設備投資を予定している企業は27.3%である。

愛知県の行った令和4年7～9月期中小企業景況調査時に行った＜事業承継の現状について＞の調査結果

1. 事業承継についての現在の考え方

全産業では「経営を引き継ぎたい」と回答した企業の割合が33.1%と最も高く、次いで「未定」28.3%の結果となった。

2. 希望する事業承継の形態について

全産業では「親族内承継」と回答した企業の割合が76.6%と最も高い結果となった。業種別では、製造業、卸・小売業、建設業では「親族内承継」、サービス業では「役員・従業員への承継」と回答した企業の割合が最も高い結果となった。

3 現在（または将来的に）事業承継を進めていくにあたり課題と考えていること

全産業で「後継者育成」と回答した企業の割合が半数を超え最も高い結果となった。次いで「取引先との関係維持」となっている。

4 現在（または将来的に）事業承継を進めていくにあたり活用したい施策・支援

全産業で「事業承継に関する相談窓口」と回答した企業の割合が最も高い結果となった。次いで「事業承継に関する金融支援」「後継者とのマッチング支援」となっている。

令和4年度 経営発達支援事業  
地域経済動向調査報告書

令和4年12月発行

編集・発行

弥 富 市 商 工 会

〒498-0027

愛知県弥富市鰐浦町南前新田 111

☎ 0567-65-3100